

## 2006年の日本のヨガ市場（6月末時点）

～ヨガ人口は32.8万人、市場規模は227.7億円～

2006年7月2日（日）

B R I C s 経済研究所 代表 門倉 貴史

E-mail: postbrics@yahoo.co.jp

### ～要 旨～

推計の結果、2006年6月末における日本のヨガ人口は32万8007人（人口比では0.3%程度）となった。筆者が2005年12月末に行った調査ではヨガ人口は30万4147人であったから、ヨガ人口はこの半年の間に7.8%増加（年率換算では15.2%増加）したことになる。最近、日本人の間でとくに人気を集めているのはダイエット効果の高いホットヨガで、2006年6月末時点におけるホットヨガ人口は推定9万239人（全ヨガ人口の27.5%）に達した。2005年末から2006年6月末までにホットヨガ人口は29.0%も増加したことになる。

ヨガ人口と平均的な授業料をもとに計算した市場規模（売上高）は年間210.2億円と推定される（そのうちホットヨガ市場は57.8億円）。これは、直接的なエクササイズのコストのみを集計した結果であるが、そのほか、ヨガの入門書やレッスン用ビデオ、ヨガマットやヨガブロックなど関連商品の販売も含めれば市場規模はもう少し大きなものとなる（関連商品の販売も含めた市場規模は227.7億円）。

2006年6月末時点のヨガ人口を都道府県別にみると、スクールが充実している東京都が圧倒的多数を占め、ヨガ人口は8.1万人に達する。以下、大阪府（4.2万人）、兵庫県（1.8万人）、神奈川県（1.6万人）、愛知県（1.2万人）と続く。2005年末から2006年6月末にかけてのヨガ人口増加ランキングは、東京がトップで7728人の増加。以下、宮城、北海道、石川、大阪と続く。最近の傾向として、ヨガブームが大都市圏だけでなく地方圏にも波及しつつあることが指摘できる。

これまでのところ日本のヨガ人口は米国のわずか1.5%程度にとどまり、欧米に比べるとヨガの普及は大幅に遅れていると判断される。しかし、ヨガ人気の高まりを受けて、今後2005年の増加率と同じペース（年平均+30.8%）でヨガ人口が拡大していくとすれば、2010年のヨガ人口は116.6万人（人口比では0.9%程度）、市場規模は699.9億円に達する。さらに2015年には、ヨガ人口が447.4万人（人口比では3.5%）、市場規模は2684.1億円となる見込みだ。

最近では、若い女性だけでなく、男性や高齢者もヨガに関心を持つようになっており、ヨガ人口の裾野が広がりつつある。週末に夫婦や家族でヨガ教室に通うケースも少なくない。また、需要の多様化に対応して供給サイドも様々なタイプのヨガを提供するようになってきている。